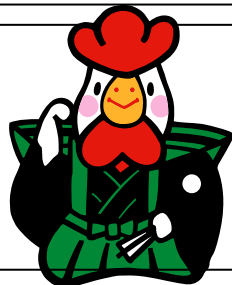




比内公民館だより

ひな



令和4年

9月号

館報のバックナンバーは市ホームページでご覧になれます。

比内あおぞら学園

第4回 ~埋もれ木のペンダントづくり~

8月18日、石戸幸子先生のご指導により「木育・埋もれ木のペンダントづくり」講座が受講生31名の出席のもと、開催されました。「子育てサポートマカロン」のメンバー6人がサポートして下さり作品制作のアドバイスをしてくださいました。



紙やすりで面取り・平面の仕上げをして蜜蝋を塗ると、年輪や色合いが埋もれ木特有の表情として表れ始め、重ね塗りするごとに光沢が生じます。実に美しい。木の温もりと約2,500年間土中で過ごした時間の色合い、自然の営みが醸し出す美学を手中にできた瞬間をみんなで共有しました。

今回の作品ですが、11月の芸文祭に出品もお願いしたいと考えております。多少のアレンジを加えていただいた方が、各自の特色ある作品展示となろうかと存じます。但し、高価なアクセサリとなるような宝石類を付加されないようお願いします。保険金は予算にありません。皆さんの良識に期待しています。重ねてよろしくお願ひいたします。



木育
ものづくり体験



次回予告



9月16日(木) AM10:00~11:30 第9研修室
第5回 「意外に知らない”木”のはなし」
講師:林政課木材産業係 主任主事 千葉 泰生 氏

キッチンカーは
毎月第2・3木曜日に
比内公民館に来ています。
ぜひご利用ください。



10・11月の貸館についてお知らせ

比内公民館では、11月5日(土)6日(日)に比内芸術文化祭の開催を予定しております。そのため、以下の期間は貸館できませんのでご了承ください。

令和4年10月24日(月)
~11月 7日(月)



大館市 20歳を祝う会【8/15開催】

今年度より成人年齢の引き下げに伴い「成人式」から「20歳を祝う会」へ名称変更となり、ほくしか鹿鳴ホールにて対象者中348人が参加して開催されました。比内地域出身の参加者もお世話になった方々や家族への感謝、社会の一員として決意を新たにしていました。



市川太鼓・ハッタギ踊り

8月17日夕刻、扇田神明社の駐車場にて扇田伝統の「市川太鼓、ハッタギ踊り」が勇壮に開催されました。

昔は各地域でお盆の「虫送り行事」が行われておりました。「扇田」の地名が指すように、田圃で作られるコメは生活の基盤であり、経済活動における価値を図る目安として大切なものです。バッタは害虫であり、太鼓の大きな音で川まで追い立て、御幣と共に流すことが大切な行事でした。ハッタギ踊りの所作は、正しくバッタをゆっくりと追い立てて進むように感じられます。

ゆったりとした盆踊りは「西馬音内・毛馬内」盆踊りとして有名です。ハッタギ踊りの今後の保存活動が大いに跳ね上がることを期待しましょう。



比内歳時記・お盆の行事



第23回大葛地区花火大会

8月20日午後7時30分、あいにくの雨でしたが大葛地区青若会^{せいわかい}の熱気が打ち勝ちました。事業所のみならず、各集落の住民が協賛金を持ち寄り、実施している花火大会であります。



山間に轟く打ち上げ花火の轟音、漆黒の闇に煌めく花火の美しさは大葛花火ならではのものです。

盆踊りカラオケ大会は感染症対策で中止となりましたが、今般の豪雨被害にあわれた方々に、せめて励ましの花火を見せてあげたいとの強い意向があり、日程をずらしての開催となりました。

花火大会が中止となるケースが多くある中、貴重な花火大会となりました。

来年こそ、正規の花火大会の開催となることを期待します。



《 比内 Jr' s スポーツ少年団 》

第20回 JA 共済学童野球大会予選は8月20日(土) 田代球場で行われ、城西レッドフェニックスと対戦。初回にホームランが飛び出し主導権を握ったかに思えたが、2回に大量6点を含む毎回得点を奪われ4-11で惜敗、残念ながら全県大会出場を逃し6年生は最後の大会となってしまいました。6年生のみなさんお疲れ様でした。



[8月の大会結果]

・第39回読売全県さわやか野球大会【第3位】

7/31(日) - 8/1(月) スカイドーム

2回戦 vs 雄勝 ○26-1

3回戦 vs 広面 ○7-2

準決勝 vs 横堀 ●0-11



・第20回東北学童軟式野球新人秋田県大会予選【2回戦敗退】

8/6(土) - 7(日) 田代球場

1回戦 vs 大館南 ○13-4

2回戦 vs 北陽 ●5-9



編集後記

毎年恒例のように自然災害が猛威を振るっています。今般の豪雨被害は線状降水帯にあたった地域がまともに被災地となり、同地区にあっても被災状況には皆無と悲惨が混在していました。

道路の寸断が集落等の孤立を生じさせましたが、土砂流出が小規模の個所では各消防団員や地元の住民らによって撤去作業が行われ、避難や復旧作業、並びに二次被害にあわないように注意喚起を行うことができました。ありがとうございました。

今後、同地区が同被害に遭わないように対策が進むことを切望してやみません。皆様に心よりお見舞い申し上げます。

「雨にも負けず、コロナにも負けず……
そんな人に、私はなりたい」と、思う。

(館長 神成)